

はじめに

～災害に強いまちの実現に向けて～

春日部市では、万一の災害の発生に備え、防災体制を整えておりますが、そのみで災害を防ぎきることはできません。災害による被害を最小限にとどめるためには、防災関係機関と連携を図りながら市民の皆さんが「自分のことは自分で守る」、そして「地域の力を結集して守る」という心構えが大切であり、日ごろから様々な事態を想定したり、避難場所や避難経路を確かめ、「いざ」というときのために備えておくことが必要です。

そこで、「地震ハザードマップ」として、揺れやすさ、液状化危険度、建物倒壊危険度を示した3種類の地図と、「洪水ハザードマップ」として、利根川、江戸川などで洪水が発生した際に予想される、浸水区域や浸水深に関する情報などを示した地図を作成しました。

このマップを常に身近な場所に置き、家庭や職場などで防災対策の一助としてご活用いただければ幸いです。

今後も、「災害に強いまち」の実現に向け、積極的に取り組んでまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



平成20年9月

春日部市長 石川良三

目次

地 震	避難場所一覧	1
	地震がおきたらその時どうする 地震ハザードマップとは	2・3
	エリア1 揺れやすさ 震度と被害想定	4・5
	エリア1 液状化危険度 液状化とは?	6・7
	エリア1 建物倒壊危険度 帰宅困難になったら	8・9
	エリア2 揺れやすさ	10・11
	エリア2 液状化危険度	12・13
	エリア2 建物倒壊危険度	14・15
	エリア3 揺れやすさ	16・17
エリア3 液状化危険度	18・19	
エリア3 建物倒壊危険度	20・21	
洪 水	水害がおきたらその時どうする 洪水ハザードマップとは	22・23
	エリア1 利根川 利根川がはん濫した場合の避難の方向 浸水ランクの目安	24・25
	エリア1 江戸川 江戸川がはん濫した場合の避難の方向 浸水ランクの目安	26・27
	エリア2 利根川	28・29
	エリア2 江戸川	30・31
	エリア3 利根川	32・33
	エリア3 江戸川	34・35
荒川 中川・綾瀬川・元荒川 想定される浸水状況と避難の方向	36・37	
総 合	情報伝達経路 避難行動の種類 雨の降り方の程度	38・39
	洪水関連情報	40
	地震のメカニズムなど	41
	わが家の備えを再確認 避難時の心得	42・43
	自主防災組織 非常持ち出し品 応急手当て・AED	44・45
わが家の防災メモ 災害時の連絡方法 わが家の避難地図を作りましょう	46・47	
家庭でできる簡易耐震診断	48・49	
情報の入手 防災関係機関	うら表紙	